



PRESS RELEASE (2011/10/18)

九州大学記者クラブ会員 各位

大学院農学研究院 松江勇次特任教授の2011年度「天津市海河友誼賞」受賞について

本学大学院農学研究院 松江 勇次 特任教授が、中国天津市政府から「天津市海河友誼賞」を受賞し、平成23年9月29日（木）に中国天津市にて授賞式が行われました。

「天津市海河友誼賞」は、天津市政府が、社会開発、経済、科学技術、教育、文化の発展に貢献した外国人専門家に授与する最高の賞で、受賞者は、中国政府から授与される「中華人民共和国友誼賞」の受賞候補者となります。今回の「天津市海河友誼賞」の受賞者は、松江特任教授を含めて10名です。

このたびの松江特任教授の受賞は、天津農学院客員教授として、天津農学院および天津市政府に対して、中国水稲の品質・食味の理論研究、良食味米生産技術の開発ならびに人材育成に多大な貢献をしたことが高く評価されたものです。過去の受賞者については、インフラ整備など社会開発活動、企業誘致や企業振興に対する支援などの経済活動に貢献した受賞者が大部分で、教育、文化等の学術的活動での受賞者は少なく、農業分野では松江特任教授が3人目の受賞となります。

松江特任教授は、天津市との共同研究プロジェクトを通じて、米の食味という概念自体がなかった中国において、米の食味研究の生みの親となっています。また、天津農学院に、中日水稲品質・食味共同研究センターという初めての米の品質・食味に関する研究機関を設立する原動力となり、同センターの栽培研究部門・品質評価部門の責任者として、中国における遺伝資源を利用した良食味水稲品種の育成と栽培研究の指導にあたっています。さらには、中国における米の品質・食味に関する初めてのシンポジウムの開催にも努力し、天津農学院において客員教授として、次世代の研究者を育成するための教育活動にも携わっています。



「天津市海河友誼賞」賞状

【参考】

天津市：北京、上海、重慶とともに中国の4つの中央直轄市のひとつであり、行政レベルでは省と同格。首都北京と渤海湾に隣接し、中国北部最大の貿易港として古くから海外の玄関として栄えてきた。近年は工業都市としても発展。

【お問い合わせ】

大学院農学研究院特任教授 松江 勇次

電話：092-612-2865

FAX：092-612-2872

Mail：matsue@farm.kyushu-u.ac.jp

九州大学は2011年に100周年を迎えました

